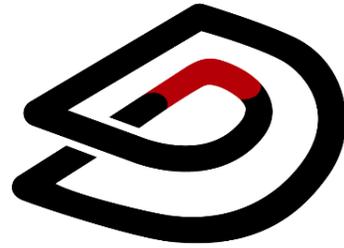


人を不幸にしないための、デジタルと



デジタルプラス

**2024年9月期 第3四半期
決算説明資料**

当第3四半期は、前四半期に引き続き**四半期営利18百万円の黒字**となり、継続的な黒字化を達成。
第3四半期累計の営業利益についても56百万円と好調を維持



全社第3四半期 営業黒字の継続

当Q営利 18百万円
前Q営利 26百万円※1

前Qに引き続き営業黒字を達成
継続的な収益の安定化

通期予想に対して、
当初想定よりも非常に
堅調な進捗状況



全社第3四半期累計 営業黒字の積み上げ により好調を維持

当期3Q累計 56百万円
前期3Q累計▲141百万円

フィンテックセグメン
トの大幅な成長と安定
した利益貢献が寄与



流通総額 17四半期連続成長 前年同Q比1.67倍

当第3四半期流通 20.2億円※2
前第3四半期流通 12.1億円

通期流通総額
約80億のベースに成長



フィンテックセグメント 粗利前年同Q比1.18倍

当第3四半期粗利 123百万円
前第3四半期粗利 104百万円

流通総額拡大を優先し
一時的に成長は鈍化。
4Q以降、再び
成長率向上の見込み

※1: ピース事業の取得対価の確定（PPA）に伴い遡及修正

※2: 速報値と異なります

3四半期連続となる **営業利益黒字化を達成**。

3Q累計としては、上方修正後の営業利益通期予想25百万円を **大幅に上回る営業利益での着地**

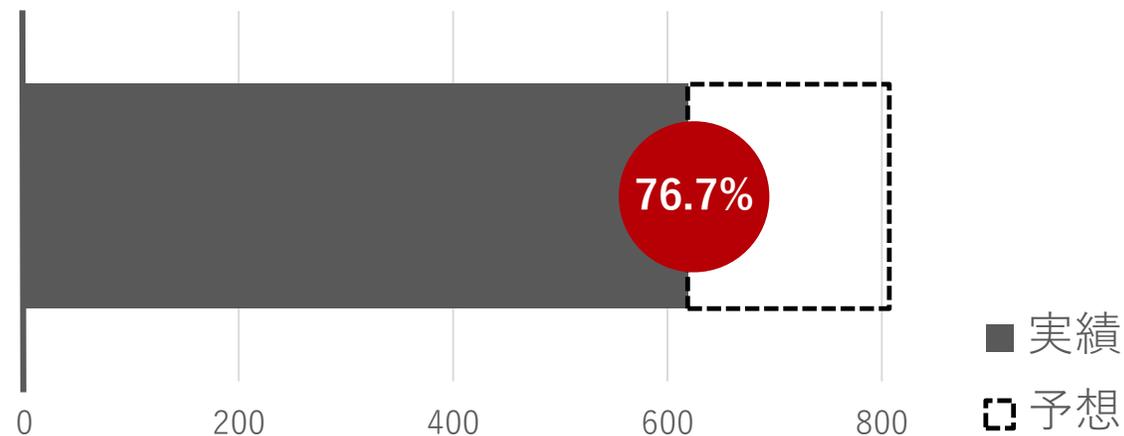
(単位：百万円)

売上高

3Q累計
実績 **619百万円**

通期予想 **807百万円**

売上

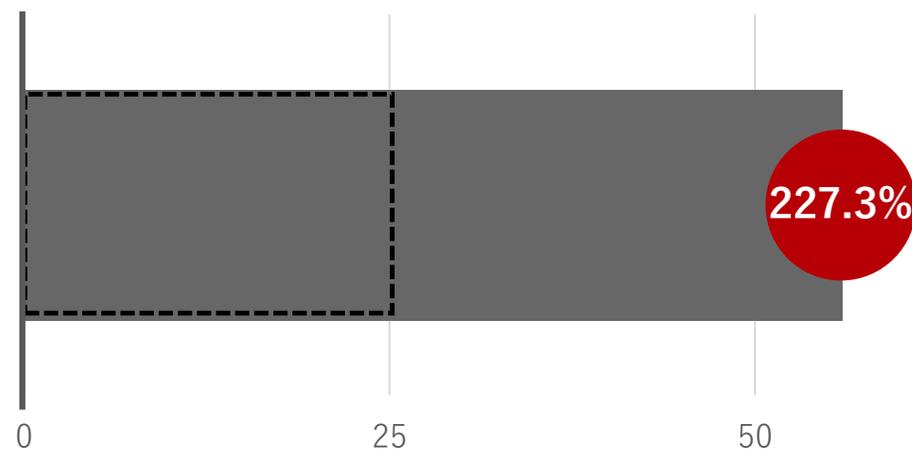


営業利益

3Q累計
実績 **56百万円**

通期予想 **25百万円**

営利



【業績の安定化】 3四半期連続の**営業利益黒字化**：3Q累積56百万円

- ・フィンテック事業における流通総額が17四半期連続成長を達成
- ・フィンテック粗利、前年同Q比約1.18倍
- ・資金移動業取得後は更なる収益改善の見込み
- ・デジタルマーケティング事業におけるセグメント利益の更なる改善
(当3Q 50百万円、当2Q 47百万円、当1Q 41百万円)
- ・上記より、総合的な収益力が強化され安定化の方向

【資金調達】 **各種資金調達の実行**により、手元流動性(現預金残高)を強化予定

- ・更なる資本業務提携先を模索
- ・更に、足元の株価状況を踏まえ、CBの償還（買い入れ消却）を進めつつ、取引先等からの借入を実行。CBの転換による希薄化を最大限回避
 - ✓ CBの償還（買い入れ消却）：0.7億円（7月実行済み）
 - ✓ 代表取締役の資産管理会社からの借入：1億円（7月実行済み）
 - ✓ 取引先等からの借入：2億円（8月実行済み）
 - ✓ いずれも重要な後発事象に記載

連結損益計算書（P/L）：2024年9月期 第3四半期決算概要（IFRS適用、累計）



前年同期に対し販管費を大幅に削減しつつも、高い粗利成長を実現した結果、当期は着実に利益を創出。

フィンテック事業における流通総額の継続的な成長に伴い、**今後も更なる粗利成長及び利益水準の改善が見込まれる**

| 単位：百万円 | 2024年9月期 第3四半期（累計） (2023年10月～2024年6月) | 2023年9月期 第3四半期（累計）※ (2022年10月～2023年6月) | 前年同期比 |
|----------------------|---|--|-------|
| 売上収益 | 619 | 478 | 129% |
| 売上総利益 | 528 | 403 | 131% |
| 売上総利益率 | 85% | 84% | 1pt |
| 販売費及び 一般管理費 | 528 | 578※ | 91% |
| その他収益及び 費用 | 57 | 33 | 173% |
| 営業利益 | 56 | ▲141 | — |
| 四半期利益 | 66 | ▲138 | — |
| 親会社の所有者に帰属する 当期利益 | 23 | ▲148 | — |

当社考察

1 流通総額の継続的な成長により、ストック収益として安定した収益の更なる積み増しが見込めている状況。新規事業であるファクタリング事業は第4四半期からPL貢献予定

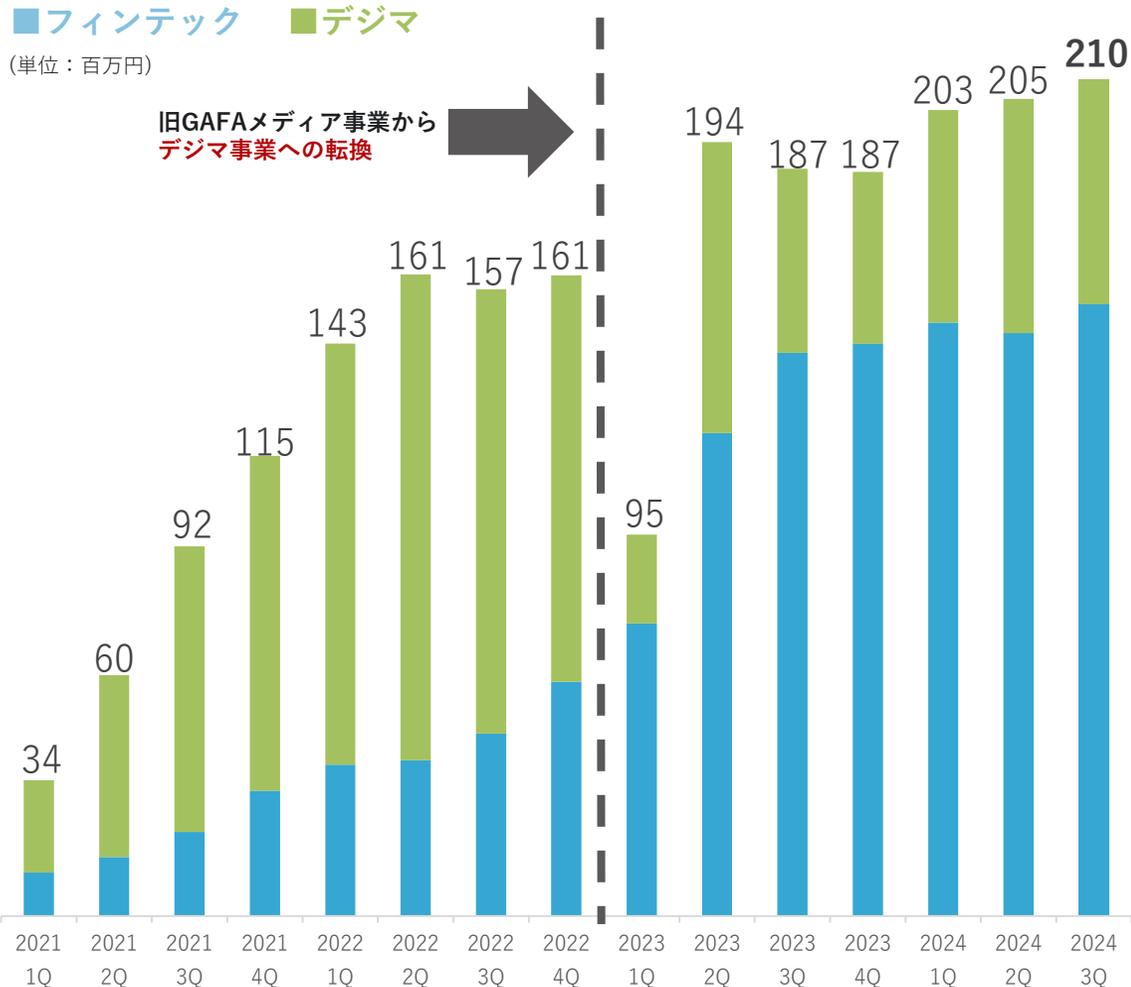
2 **営業利益の黒字継続を維持**
 ・ 営業利益
 ・ 四半期利益
 ・ 当期利益
 全てにおいて、**黒字化の維持を実現**

※ピース事業の取得対価の確定（PPA）に伴い遡及修正

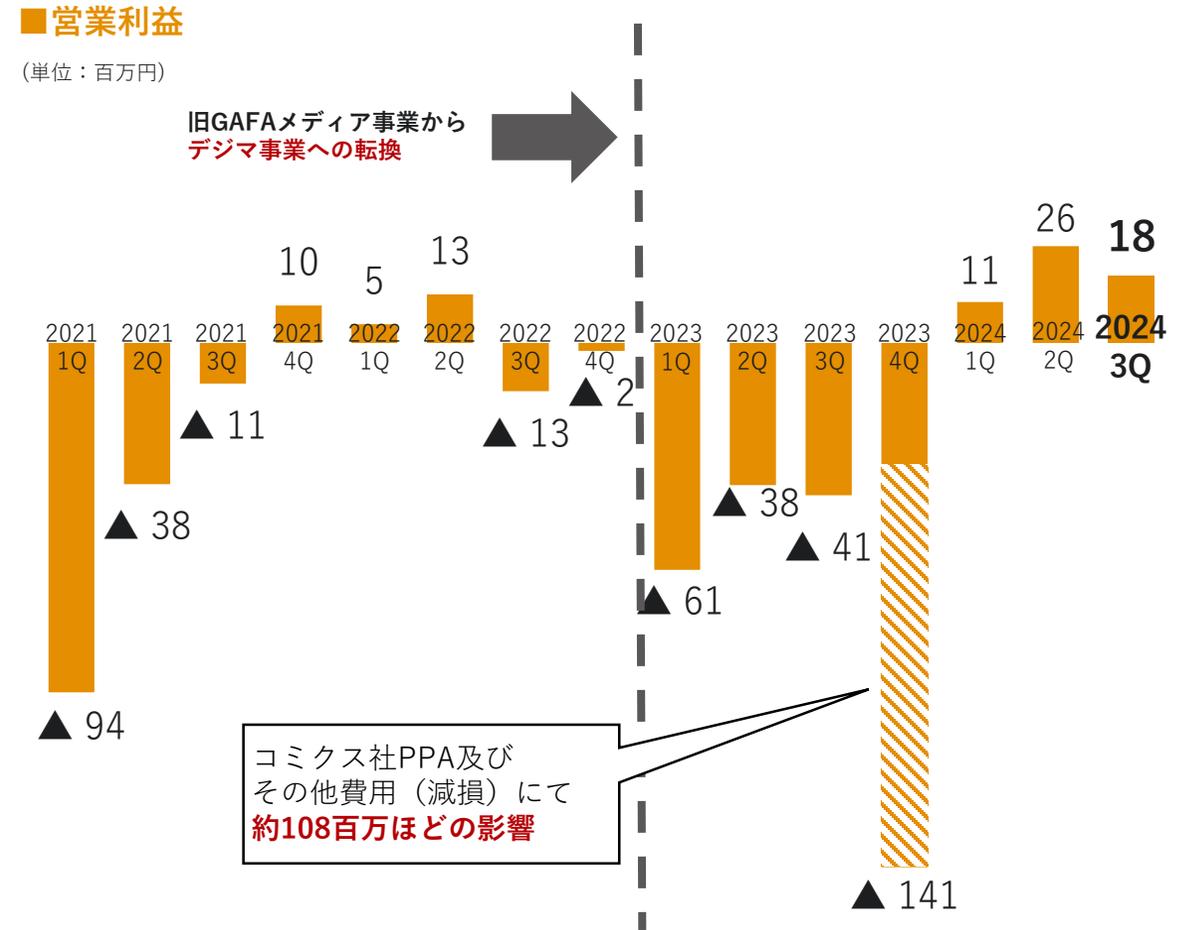
売上・営業利益 | 四半期毎の推移

第3四半期の売上高は、フィンテック事業の粗利が再び成長軌道に戻ったことが寄与し、2021年9月期以降**過去最高売上を達成**。また、**3Q連続となる営業利益黒字化**を実現

フィンテック・デジマの四半期売上推移



営業利益の四半期推移 ※



※ピース事業の取得対価の確定（PPA）に伴い遡及修正

(※) 2023 1QよりIFRS適用

連結貸借表 (B/S) (IFRS適用)

第三者割当増資の払込完了及び借入の実施により、現預金の水準が改善。
第3四半期において四半期利益が20百万円となり、自己資本が更に改善

| 単位：百万円 | 2024年9月期 第3四半期末 (2024年6月30日時点) | 2024年9月期 第2四半期末※ (2024年3月31日時点) | 前四半期 | 2023年9月期末※ (2023年9月30日時点) | 前期末比 |
|---------------|--------------------------------------|---------------------------------------|------|------------------------------|------|
| 流動資産 | 1,269 | 992 | 128% | 1,014 | 125% |
| 現金及び 現金同等物 | 528 | 360 | 147% | 444 | 119% |
| 非流動資産 | 662 | 651 | 102% | 673 | 98% |
| 資産合計 | 1,931 | 1,643 | 118% | 1,688 | 114% |
| 流動負債 | 1,107 | 864 | 128% | 983 | 113% |
| 非流動負債 | 157 | 230 | 68% | 179 | 88% |
| 資本 | 666 | 549 | 121% | 525 | 127% |
| 負債及び 資本合計 | 1,931 | 1,643 | 118% | 1,688 | 114% |

当社考察

- 1 第三者割当増資の実行及び借入の増額により、現預金の水準が大きく改善。今後も更なる流通総額の拡大に向けて、資金調達を行っていく方針
- 2 第三者割当増資の実行及び四半期利益の黒字化により自己資本が改善

※ピース事業の取得対価の確定 (PPA) に伴い遡及修正

2024年9月期3Q 業績状況(前Q比較・前年同Q比較)



前Q比較では**流通総額122%、売上105%**の成長率で着地。前年同Q比では**セグメント利益約1.5倍成長**。メンタルヘルス事業における広告費増により前Q比でセグメント利益は一時的に減少したものの、今後**利益率は改善する見通し**

単位：百万円

| | 当Q実績 | 前Q実績 | 前年同Q実績 | 前Q比 | 前年同Q比 |
|---------|-------|-------|--------|------|-------|
| 流通総額 | 2,023 | 1,664 | 1,210 | 122% | 167% |
| 売上高 | 153 | 146 | 141 | 105% | 109% |
| 粗利 | 123 | 117 | 104 | 105% | 118% |
| 販管費 | 86 | 70 | 80 | 123% | 108% |
| セグメント利益 | 37 | 47 | 24 | 79% | 154% |

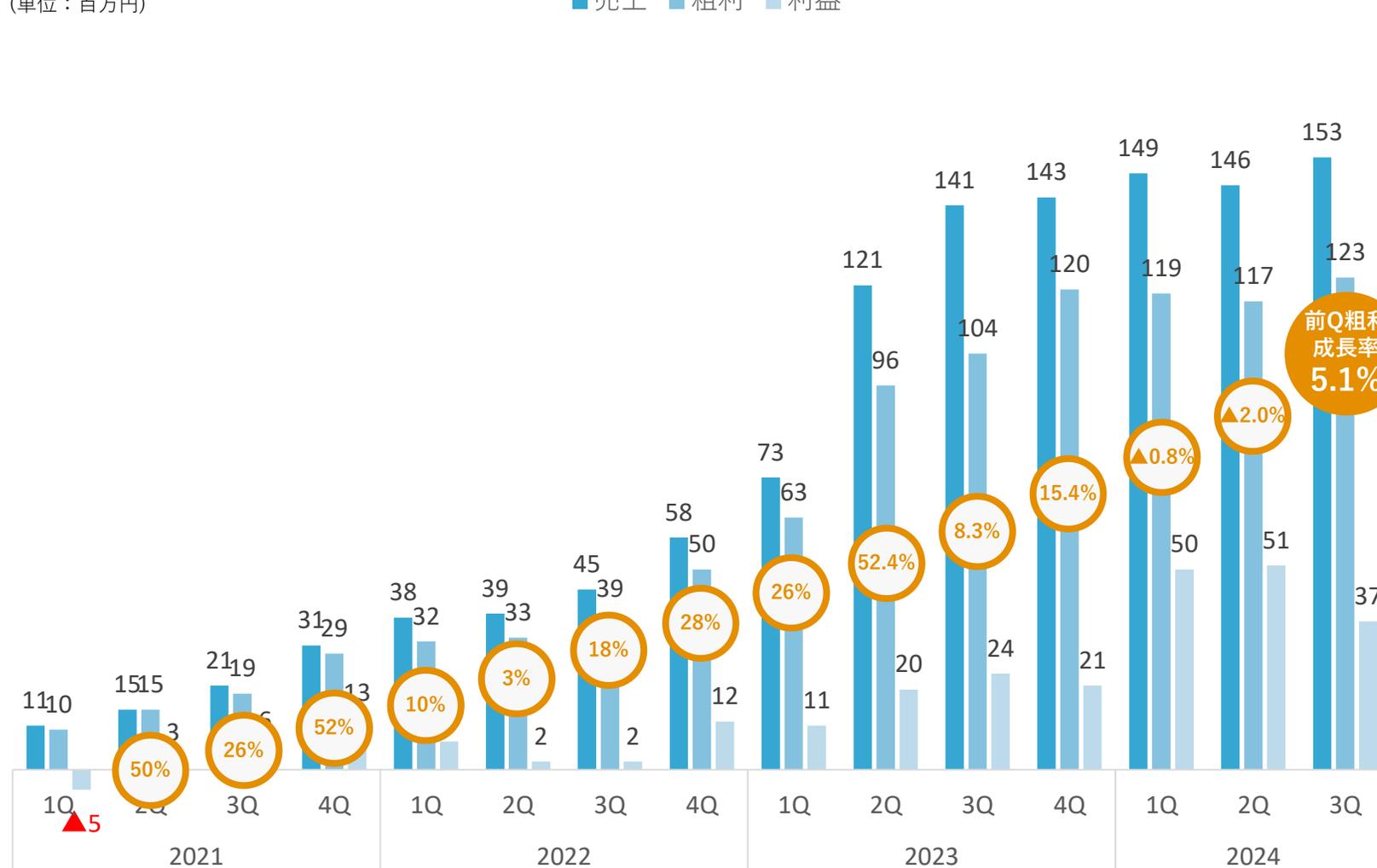
2024年9月期3Q フィンテック・セグメント業績状況

ディスカウント(1-2%)販促やサブスク収益減少の影響で一時的に流通粗利率が減少するも、回収時期に突入。
 しかしながら堅調な流通成長を実現しており、3Q以降、売上・粗利ともに再度成長軌道へ

フィンテック・セグメント

(単位：百万円)

■ 売上 ■ 粗利 ■ 利益



前年同四半期比
 3Q売上成長率 **108%**

前年同四半期比
 3Q粗利成長率 **118%**

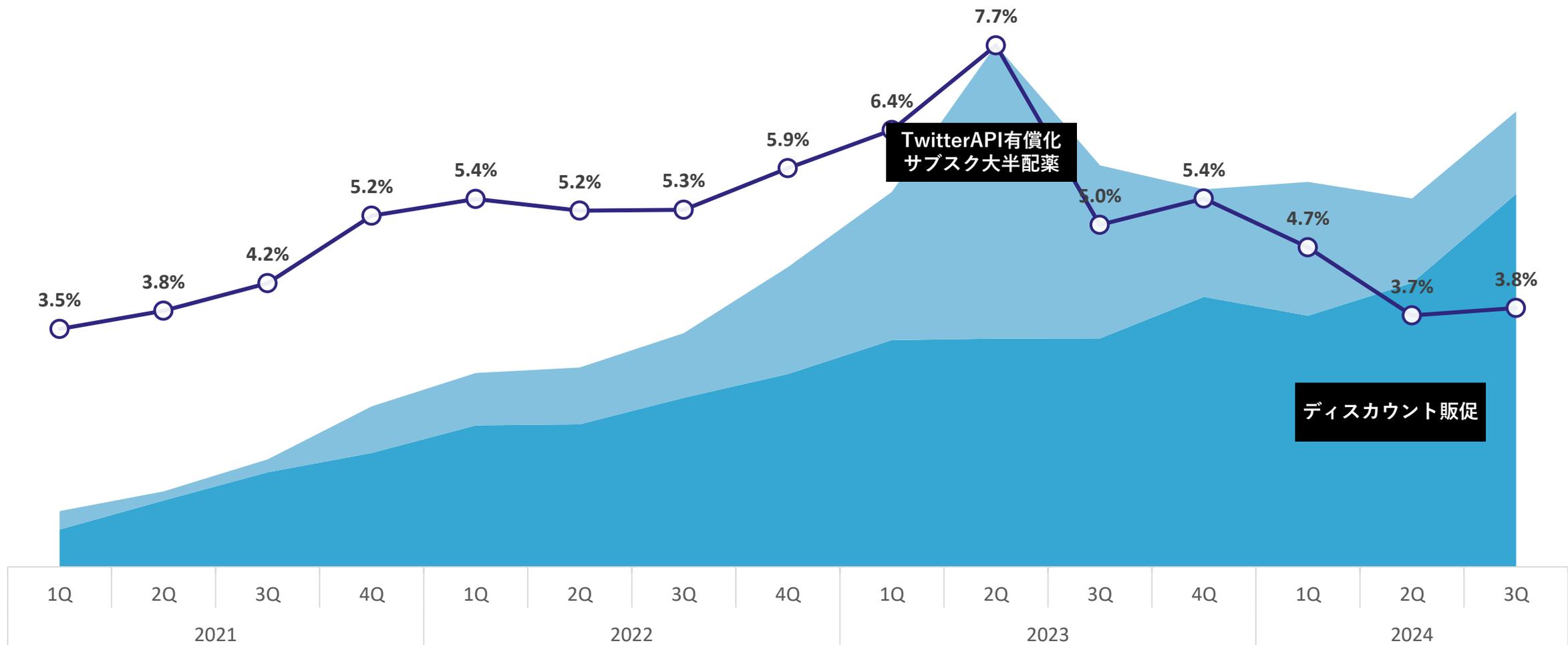
3Q粗利率 **80%**
 流通総額拡大を優先した手数料割引施策による億単位の一括購入需要が増加

3Qセグメント利益率
24.1%

2023年2Q Twitter API有償化に伴い、足元の利益ベースであったフィンテック事業のサブスクが大半解約
 2023年4Qより流通総額拡大にフォーカスし、着実に流通利益を積み上げ、収益構造の安定化と高い成長軌道実現へ

(単位：百万円)

流通売上 システム売上 流通粗利率



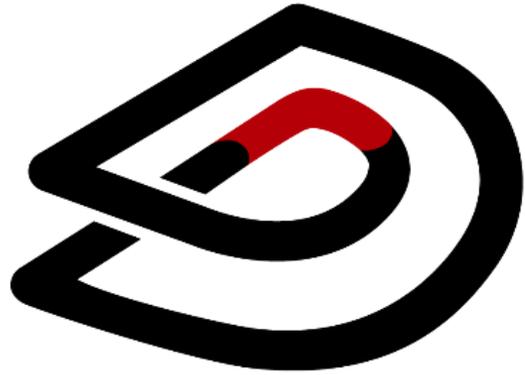
セグメント利益前年同Q比263%(+31百万円)で着地

単位：百万円

| | 当Q実績 | 前Q実績 | 前年同Q実績 | 前Q比 | 前年同Q比 |
|--------------|------|------|--------|------|-------|
| 売上高 | 56 | 60 | 46 | 93% | 122% |
| 粗利 | 57 | 57 | 45 | 100% | 127% |
| 販管費 | 23 | 26 | 42 | 88% | 55% |
| その他収益及び費用(※) | 16 | 16 | 16 | 100% | 100% |
| セグメント利益 | 50 | 47 | 19 | 106% | 263% |

※:IFRS上、売上高の一部をその他収益として振替計上

人を不幸にしないための、デジタルと



デジタルプラス

はじまること、出会うこと、成長すること、遊ぶこと、
学ぶこと、挑戦すること、愛すること、
失敗しても、またはじめられること。

前に進む人生のすべてに、

一緒にいるデジタルを提供していく。

無意識のうちに、つい、あきらめてしまっていることを、

叶えられることに変えていく。